

出演者

◇ 田尻 健 客演指揮



熊本在住。関西学院大学法学部法律学科卒業。エリザベト音楽大学大学院音楽研究科宗教音楽専攻修士課程修了。フランスのオーベルヴィリエ・ラ・クールヌーヴ地方音楽院にてバロック声楽のDEM(音楽研究資格)取得。これまでにヘンデルの「メサイア」、バッハの「口短調ミサ」、モーツァルトの「レクイエム」などのソリストとして様々なコンサートに出演。オペラではヘンデルの「アルチーナ」オロンテ役、ラモーの「プラター」テスピス役などを国内外で演じる。Les Barokments、Beata Musica Tokiensis、古楽アンサンブル・コントラポントのメンバー、Hiroshima Bach Soloists 主宰。エリザベト音楽大学非常勤講師。

◇ 岩田 耕作 ルネサンスギター



飯塚市(旧穂波町)出身。6歳のときに失明。ブリュッセル王立音楽院にてチェンバロと室内楽のブルミエ・ブリ、ストラスブル音楽院にてチェンバロと作曲法の金賞を受賞。ここ数年は、ウクレレの先祖であり、ルネサンス期にリュートと並び、王族から庶民まで広く愛好されたルネサンスギターに注力。16世紀に出版されたファクシミリ譜から知られざる作品を発掘するとともに、当時の演奏テクニックについての研究、ルネサンス以外の音楽への転用など、この楽器の可能性と魅力について探求中。また、一十舎との共同開発による楽器制作、オンラインレッスンなど、気軽に手に取ってもらえる古楽器として、普及活動に努めている。ハルモニー・セレスト代表。

◇ 太田 耕平 リュート/テオルゴ



福岡出身。2001年よりイタリアに渡りヴィチエンツァ国立音楽大学にてS. グロンドーナに師事。2007年、同大学ギター科を最高点首席にて卒業。その間、シエナ市キジアーナ音楽祭に参加、0. ギリアのマスタークラスを受講、優秀生ディプロマを取得。2007年11月よりドイツに移住、フランクフルト国立音楽大学古楽専門学部にてリュートを今村泰典に師事。2014年7月、同大学リュート科を卒業。2016年、15年のヨーロッパ生活にピリオドを打ち、完全帰国。福岡を拠点にギター・リュート奏者として演奏活動を展開。「ギター・リュート音楽教室KITARA」を創立、レッスン活動、音楽講座の主催、演奏会の企画など多岐にわたる活動を行っている。

◇ 大坪 由香 リコーダー



福岡県立修猷館高校、桐朋学園大学古楽器科(リコーダー専攻)卒業。同大学研究科修了。オランダのデン・ハーグ王立音楽院古楽科を修了後、アムステルダム古楽アカデミーにて学ぶ。リコーダーを花岡和生、R. カンジ、J.v. ヴィンガーデン、H. テル・スケハットの各氏に師事。現在福岡を拠点に、各地でリコーダーの演奏及び教授活動を行っている。ゆふいん音楽祭、おぐに古楽音楽祭、ロカルノ”管楽器コンサートシリーズ”(スイス)、福岡古楽音楽祭、響ホール室内合奏団「響のバロック」公演、新・福岡古楽音楽祭等に出演。2006年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員(オランダ・コトレヒト)。「FORDs(旧・リコーダー・フェスティバル in 西南)」音楽監督。

◇ リコーダーアンサンブル 白濱美佐子 須藤千津子

◇ コーロ・ピエーノ 合唱

1981年の結成以来、西洋音楽の原点といわれる中世・ルネサンス音楽に取り組み、ア・カペラ(無伴奏)合唱の純粋な響きや小編成の声楽アンサンブルの軽妙さ、古楽器との協演などを通して、比較的演奏機会の少ない当時の音楽の魅力、楽しさを伝えようと活動を行ってきた混声合唱団。新・福岡古楽音楽祭や合唱祭への出演、年に1回の自主公演などを活動の柱としている。

ソプラノ 石丸藍 川上まや 川添千佳子 白水今日子 宮田栄子 村山文子 山下美和 横田恵子
アルト 井上秀子 岩熊真由美 永原美佐 野田智子 平井佐和子 前田明子 松村抄子
テノール 加藤隆明 澄川政博 田中雅美 宮原淳
バス 安西博之 松村俊哉 村山暁 和田真

CORO PIENO

コーロ・ピエーノ

アルモニー・フランセーズ

～ルネサンス・バロックのフランス合唱曲～



2022年7月9日(土) 午後3時開演

西南学院大学チャペル

後援 福岡市(公財)福岡市文化芸術振興財団 福岡県合唱連盟 福岡音楽団体連絡会